

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 洪水情報の危険度分布

色が持つ意味	住民等の行動の例	内閣府のガイドラインで 発令の目安とされる避難情報
高 危険度 低	<b>災害切迫</b> (立退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!	<b>緊急安全確保</b>
	<b>危険</b> 水位が一定の水位を超えている場合には、 安全な場所へ避難する。	<b>避難指示</b>
	<b>警戒</b> 水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な 場所へ避難する。高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わ せ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	<b>高齢者等避難</b>
	<b>注意</b> ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報 や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	
	<b>今後の 情報等に留意</b> 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

## 大雨や洪水などの警報と注意報について

重大な災害が起こるおそれがある場合、注意報は災害が起こるおそれがある場合に発表されます。

これらの警報・注意報は市町村ごとに発表されます。

また、長時間(期間)雨が降り続くことによって土砂災害の危険性が高まった場合には、「土砂災害警戒情報」が発表されます。

※市町村ごとの警報・注意報の発表状況は、気象庁ホームページで確認することができます。

## 無理は禁物

洪水などにより避難路が浸水している場合は、無理に避難をせず、自宅2階や高い所で救助を待ちましょう。ひざ下程度の深さでも流れが速い場合は非常に危険です。

## Web版竹富町ハザードマップ

「Web版竹富町ハザードマップ」では、パソコン・スマートフォン上で竹富町内の災害(水害、土砂災害)に関する危険想定箇所や、避難施設の詳細情報をご覧いただけます。下記URL、または右記のQRコードよりアクセスしてご利用ください。

[https://www.town.taketomi.lg.jp/userfiles/files/hazardmap/flow\\_01.html](https://www.town.taketomi.lg.jp/userfiles/files/hazardmap/flow_01.html)

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

QRコード



沖縄県は竜巻発生率日本一! 沖縄県は、100km四方あたりの竜巻発生率が9.1個と全国で一番高い地域です。特に夏場は台風や熱帯低気圧などに伴い多くの竜巻が確認されています。

## 《竜巻発生の前兆現象》

1. 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
2. 雷鳴が聞こえたり、雷光が見える
3. 急に冷たい風が吹き出す
4. 大粒の雨や「ひょう」が降りだす



## 竜巻からのサバイバル

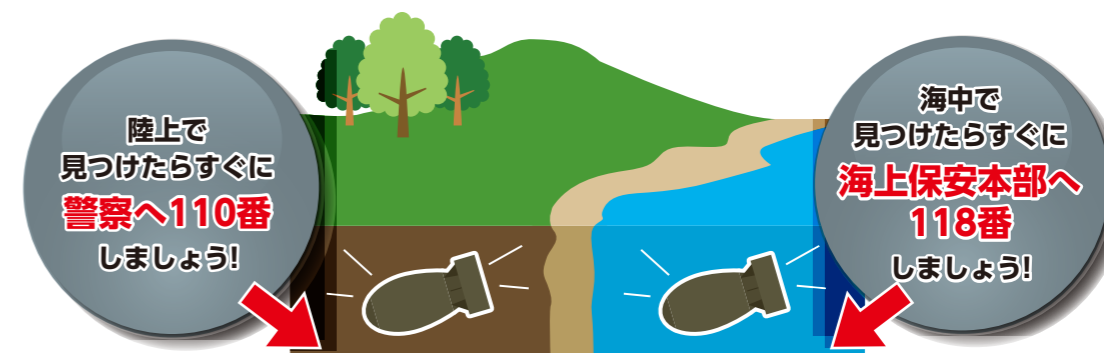
屋内にいる場合

- 窓を開けない ●窓から離れる
- カーテンを引く
- 雨戸・シャッターを閉める
- 地下室や建物の最下階に移動する
- 家の中心に近い、窓のない部屋に移動する
- 部屋の隅・ドア・外壁から離れる
- 丈夫な机の下に入り、両腕で頭と首を守る

屋外にいる場合

- 車庫・プレハブを避難場所にしない
- 橋や陸橋の下に行かない
- 近くの頑丈な建物に避難する
- 地下室や建物の最下部に移動する
- 頑丈な建物が無い場合は、近くの水路やくぼみに身をふせ両腕で頭と首を守る
- 飛来物に注意する

★絶対に触らないで下さい ★その場から動かさないで下さい



「不発弾」とは、戦争の時に使われた砲弾や、航空機から投下された爆弾等で、地上や海に落下しても、発火せず「不発」となったもの、あるいはその疑いのあるものを一般に不発弾と呼んでおります。

このような不発弾は、起爆装置(信管)の安全装置が外されており、何らかの衝撃で何時でも発火装置が起動(作動)する状態にあることが予想され非常に危険です。

また、長い年月によって風化し、姿形が変わりましては、見分けがつかない場合もあります。

県内で発見される主な不発弾

